



楽しい時間はあっという間で、残り3カ月となりました

齊藤 三花 (さいとう みか)

- 出身：神奈川県川崎市
- 着任日：令和4年4月(3年目)
- 活動内容：地域活動支援

- ①農業体験などを通じた地域生産者との連携強化、直売支援、商品開発
- ②地域資源を活用したイベント企画、実施
- ③SNSを活用した情報発信
- ④地域活動への参加、地域課題の解決策を地域と一緒に考える取り組み

今月の活動・・・地域活動支援、資料作成

第6回根獅子・飯良ふるさと市場

子どもボランティアを募集したところ、小学生、中学生、高校生の23名が参加してくれました。2時間のイベントの中で、お店の手伝いや発表、盛り上げ係までとても助かりました。参加した子ども達からは「今度はもっとこうしたい」と企画の案や「楽しかった」と声をかけてくれました。私にとっても大切な思い出になりました。

■ 子ども達へ繋ぐ活動

「将来を担う子ども達がまちづくりへの関心を高め、ふるさとをもっと好きになってもらいたい」という思いで活動しました。



「繋ぐ活動」

12月は、地域おこし協力隊としての「まちづくりへの想いとともに各活動に対する自身の考え」をまとめた資料作成に力を入れました。この資料を基に関わりのあった団体へ想いを伝えていきたいと思えます。資料の一部になってしまいますが、月間の活動報告にも連載していきますのでぜひご覧ください！！

【1. 地域おこし協力隊とは】

ソトからの視点で自身の才能や能力を活かし、地域の問題解決や活性化のための「地域協力活動」を行いながら、人間関係の構築に努め、理想とする暮らしや生き甲斐を見つける定住への取り組みです。

【2. 平戸市地域おこし協力隊(中部地区支援)】

まちづくり運営協議会と共に集落活動をサポートするという「ミッション型地域コミュニティ活動」

【3. 職歴と地方移住まで】

学生時代のアルバイトを含めると飲食業(販売、接客・サービス業、調理師)に15年以上従事しています。接客業ではフードコーディネーターとして顧客管理や店内装飾・空間演出に努め、調理業務では日々の調理作業、さらに作業の明文化や調理工程表の作成、HACCP対応などの仕組み作りを担当してきました。それに加え、どの企業でも任せられていたのが新卒(新人)指導です。業務への理解度や作業分配、人に伝え継いでいく方法を学んできました。きれいな海の側で暮らす、人と関わり続ける、「食」に携わる仕事でマッチしたのが平戸市でした。



【4. 1年目の活動「地域に馴染む」】

- ①農業を学ぶ「農家を知る、平戸の名産を知る」
- ②現状調査「地域活動者のまちづくりへの思いを調査」
- ③戦略作り「改善点の整理、WCMの整理」



(1)Will(やりたいこと)

- ・「食」のレシピ作成
- ・食育の推進
- ・笑顔の空間作り

- ・子ども達に関わりたい
- ・人と関わりたい

(2)Can(できること)

- ・調理師
- ・接客(コミュニケーション)
- ・人前で話す(雰囲気作り)
- ・フードコーディネーター(空間、演出)
- ・新卒指導(伝える)
- ・何事も楽しむ

(3)Must(するべきこと)

- ・地域との関係構築
- ・まちづくり活動者の減少を緩める
- ・まち協の関係人口創出・活動者の負担軽減
- ・地域おこし協力隊の周知
- ・関心を持ってもらう

→ 地域へ貢献できると考えたのが「活力を与える存在」になること